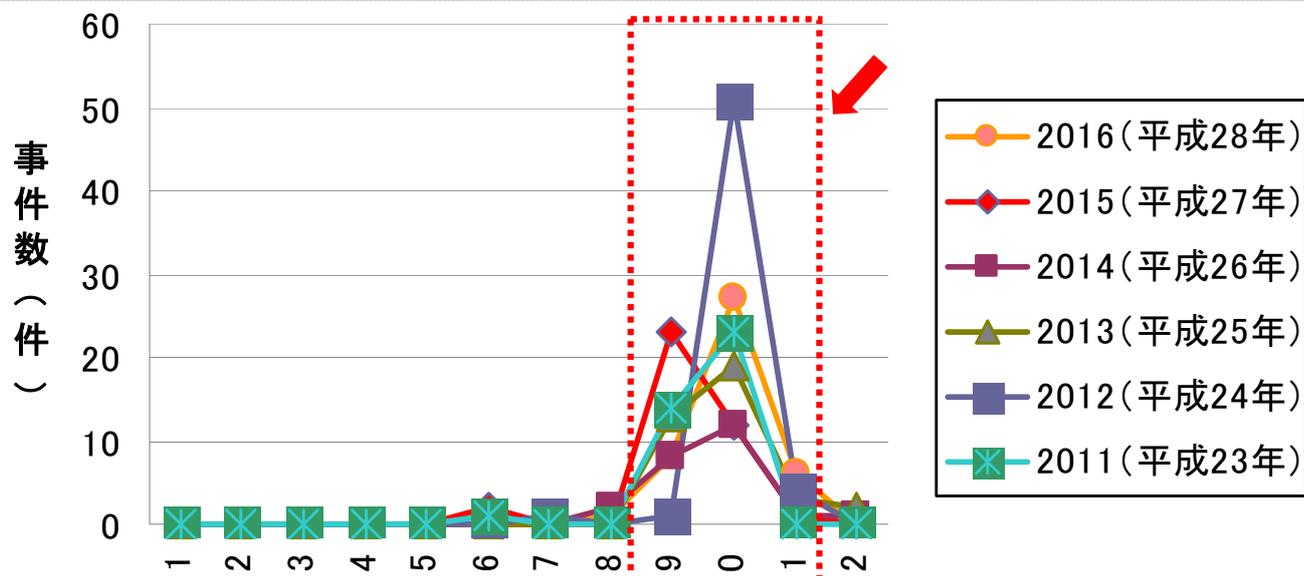


毒きのこに注意



例年9月から10月に毒きのこによる

食中毒が多発します。※厚労省統計



食用と確実に判断できない**野生キノコ**は、

採らない！ 食べない！

絶対に

売らない！ 人にあげない！



よくわからないものは、食べてはいけませんよ！

- ✓ 知らないきのこは、採らない、絶対に食べない。
- ✓ 「柄が縦に裂けるきのこは食べられる」などの誤った言い伝えを信じない。

きのこを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を！



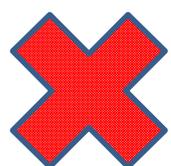
園芸用の観葉植物の誤食も発生！

観葉植物の中には食べると有毒なものがあります。そうした有毒種を家庭菜園や庭などに植えて誤食を招くことがあります。家庭菜園では、食用と園芸の種類が混じらないようにし、何を植えたか分かるようにしておきましょう。

毒きのこの見分け方や安全な食べ方などについて様々な誤解、誤った言い伝えがあります。

出典：厚生労働省HP

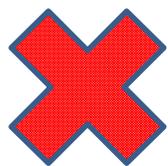
誤解 1 茎が縦に裂けるきのこは食べられる



本当は

毒きのこにも、茎が縦に裂けるものがあります。

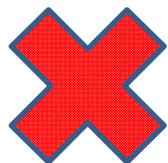
誤解 2 毒きのこは派手な色をしている



本当は

毒きのこにも、地味な色のものがあり、食べられるきのこにも派手な色のものもあります。(真っ赤なタマゴダケなど)

誤解 3 虫が食べるきのこは、人間も食べられる



本当は

虫やナメクジは、毒のあるきのこも食べます。



野生きのこから放射性物質が検出されている地域（小山町・御殿場市・富士宮市・富士市・裾野市）でのキノコ狩りは自粛して頂きますようお願いいたします。